

# NEWS RELEASE

報道関係者各位

2017/11/27

(株) キョードーメディアス

## 女性演出家サラナ・ラパイン 『4Stars 2017』に注ぐ情熱 Part2

『ブロックバック・マウンテン』など数々の映画で知られる人気俳優ジェイク・ジレンホールがニューヨークの劇場街ブロードウェイで初めてミュージカル作品に挑んだ際、有力紙NYタイムズはラブレターさながらの劇評で彼を称えた。この舞台を演出し、彼がミュージカル俳優として地位を確立するのを支えたのがサラナ・ラパインである。自身のブロードウェイでの演出家デビュー作でハリウッドの大物とタグを組む機会に恵まれ、辛口の劇評家たちをねじ伏せたが、それに対して、彼女には一切の銜がない。子育てのようにどんな子供であっても、兄妹であっても、同等に寄り添い才能を引き出すことに勤めただけと振り返った。そんな彼女が今度は『4Stars 2017』でミュージカル界の4人の重鎮たちと向き合う。

選曲初期の過程では出演者が希望する楽曲を訊いて優先したのだという。そして4人が普段からレパートリーとして得意な楽曲と、これまで挑戦したことのない種の曲をミックスさせた。これにより、方向性が明確になり、愛を求める旅路という作品の要となるテーマが自ずと浮上してきたのだとか。

全員が愛と冒険を探求し、自分が心地よいと感じる場所を離れて旅に出る。旅では新しい音楽を発見し、新たな友と出会う。さらには少々複雑な大人の恋愛さえも体験、そして帰路に就く。4か国から集った4人の魂はそれぞれの母国や我が家に戻り、旅を通して経験したことや、触れたことを通しての自身のアイデンティと見つめ合うというのが演出家の描くシナリオの流れだ。

同作品は4人のスターたちの競演だけにとどまらない。アメリカのミュージカル界を代表する作詞・作曲家たちの共演でもある。アラン・メンケン、カンダー&エップ、スティーヴン・ソンドハイム、ロジャーズ&ハマースタインによる名曲を一作品の中で同時に味わえる珍しい作品でもあるのだ。そこにABBAやアンドリュー・ロイド＝ウェバー、そしてクンツェ&リーヴァイといったヨーロッパからの面々も参戦する豪華ぶりがもうひとつの見どころとなる。



今回、サラナ・ラパイン直々に製作チームへの参加を依頼したのがマイケル・スタロービン。編曲者としてブロードウェイには欠かせない逸材の彼は、出演者と楽曲との結合組織の役割を担うの

報道に関するお問合せ（公演情報のご掲載、写真のご請求、その他お気軽にお問い合わせ下さい）  
(株) キョードーメディアス TEL 03-3407-8105（直通の為、離席中は留守電になります）

うんりいん  
雲林院

[unriin@kyodotokyo.com](mailto:unriin@kyodotokyo.com)、佐藤 [medias1@kyodotokyo.com](mailto:medias1@kyodotokyo.com)、川島 [medias-kawashima@kyodotokyo.com](mailto:medias-kawashima@kyodotokyo.com)

# NEWS RELEASE

だと演出家は解説する。オーケストレーターとして、それぞれの曲に音楽面での物語と声を与えてくれるのだという。

披露される楽曲はバラエティに富んだものが目白押し。上演される機会の少ない「ハックルベリー・フィンの物語」をミュージカル化した『ビッグ・リバー』からのナンバーは貴重だ。さらには、まだ日本で上演されていないアンドリュー・ロイド＝ウェバー作曲の最新作『スクール・オブ・ロック』からの楽曲も目玉のひとつ。ニューヨークやロンドンで大ヒット中の同作品からのミュージカル・ナンバーは見逃せない。

アメリカで上演しても受け入れられる作品に仕上げるとというのが、演出家が掲げるもうひとつの目標だ。楽曲がどの言語で歌われていても秘められたメッセージが観客の心に響くように細心の注意を払うというのがこれから始まるリハーサルでの重要な課題なのだから。今回の演出プロセスでは、キャスト各々がどのような愛を求めた旅路を描きたいかを先ず教わり、それを引き出して形を付けていくのだという。

出演する4人のアーティストについてもっと知りたいという願望はサラナ・ラパインが今回のプロジェクト参加を決意した要因。リハーサルを通して4人と更に交流を深め、学び、その成果が最終的に完成する舞台上で生かされると説く。演出家と4人が織り成す愛を求めた冒険の旅路の全貌が間もなく明らかになる。

Kageyama, Yusei

影山雄成

(Photo by Sofia Colvin)

そして今回、このインタビューとともにサラナ・ラパインも注目する期待の楽曲が発表された！

●ビッグ・リバー Big River

♪マディー・ウォーター Muddy Water ラミン・カリムルー×城田優

●ソンドハイム・オン・ソンドハイム Sondheim on Sondheim

♪ルージング・マイ・マインド/ノット・ア・ディ・ゴーズ・バイ

Losing My Mind/Not A Day Goes By シンシア・エリヴォ×シエラ・ボーゲス

●リトル・マーメイド The Little Mermaid

♪パート・オブ・ユア・ワールド Part of Your World シエラ・ボーゲス

サラナ・ラパインの演出、そして極上の歌声、さらにそこに彩りを添える至極のダンス。全てが伴い織りなす「Journey (旅)」。お見逃しなく！！

報道に関するお問合せ（公演情報のご掲載、写真のご請求、その他お気軽にお問い合わせ下さい）

（株）キョードーメディアス TEL 03-3407-8105（直通の為、離席中は留守電になります）

うんりいん

雲林院 [unriin@kyodotokyo.com](mailto:unriin@kyodotokyo.com)、佐藤 [medias1@kyodotokyo.com](mailto:medias1@kyodotokyo.com)、川島 [medias-kawashima@kyodotokyo.com](mailto:medias-kawashima@kyodotokyo.com)

# NEWS RELEASE

## 【公演概要】

演出 サラナ・ラパイン Sarna Lapine  
出演 (アルファベット順 alphabetical)  
シンシア・エリヴォ Cynthia Erivo  
ラミン・カリムルー Ramin Karimloo  
シエラ・ボーゲス Sierra Boggess  
城田優 Yu Shirota

ダンサー (五十音順) 大村俊介 (SHUN)、前田純枝、三井聡、矢野祐子

## ●公演スケジュール

【大阪公演】2017年12月14日(木)～12月17日(日)

梅田芸術劇場 メインホール

【東京公演】2017年12月20日(水)～12月28日(木)

東京国際フォーラム ホールC

## ●チケット好評発売中

## ●お問い合わせ (10:00～18:00)

梅田芸術劇場【東京】0570-077-039 【大阪】06-6377-3800

◆公式HP <http://4stars2017.com> ◆公式ツイッター @4Stars\_2017

◆公式インスタグラム @4Stars\_2017

【東京公演主催】キョードー東京・テレビ朝日・ワタナベエンターテインメント・梅田芸術劇場

【大阪公演主催】朝日放送・ワタナベエンターテインメント・梅田芸術劇場

【企画・制作】梅田芸術劇場

報道に関するお問合せ (公演情報のご掲載、写真のご請求、その他お気軽にお問い合わせ下さい)  
(株)キョードーメディアス TEL 03-3407-8105 (直通の為、離席中は留守電になります)

雲林院 うんりん [unriin@kyodotokyo.com](mailto:unriin@kyodotokyo.com)、佐藤 [medias1@kyodotokyo.com](mailto:medias1@kyodotokyo.com)、川島 [medias-kawashima@kyodotokyo.com](mailto:medias-kawashima@kyodotokyo.com)